

# 大王谷学園初等部

創立50周年  
記念式典

## 講演やキャリア教育授業

今年度で創立50周年を迎えた日向市立天王谷学園初等部(松下修士校長、

630人)の記念式典は15日、同初等部体育館であった。全校児童、教職員、来賓、PTAの役員らが出席し、半世紀の節目を祝った。

同学園初等部は1973(昭和48)年4月に大王谷小学校として開校。2008(平成20)年4月に併設型小中一貫校の大王谷小中学校となり、

建築業、デザイナーなどさまざまな職業、師となり、業についてこのうち業では、宮准教授の「頭蓋骨の標徴などを解剖医師の仕事やりがい」

表彰を受けた鈴木純代さん(延岡市)が「私は就労支援や社会復帰活動、自殺防止への取り組みなどさまざまな形で県の精神保健福祉向上に努めてきた。長年の活動が認められた証として誇らしく思う」と謝辞を述べた。

【県精神科病院協会会長表彰】甲斐直子(高千穂町、国見ヶ丘病院看護師)原口明子(延岡市、延岡保育園看護師)佐藤一也(延岡市、吉田病院准看護師)橋原孝二(門川町、田中病院准看護師)

# 人ひと



7月1日の就任から約4カ月。「町長の掲げる政策を手助けするのが私の役目。やるべきことが少しずつ見えてきたところ。まだまだこれから」と、はつらつと語る。

86(同61)年に1級建築士の資格を取得。町立図書館の建設や門川中学校の建て替えに携わり、その後、教育総務課と総務課の課長を務め、定年退職後は再任用職員、会計年度任用職員として今年6月まで勤務した。

山室浩二町長とは、同期入庁の7人でつくる「53(ごみ)の会」の仲間。気心知れた間柄。「目指す町の姿が一緒だった。力になれるのでは」と思い、引き受けてさせてもらった」と気を引き締める。

その第一歩として「職員との対話を通して働きやすい職場づくりを掲げる。私自身楽しんで仕事をしたい、実際に楽しかった。」

た。だから職員にもできる限り楽しく仕事に励んでもらいたい」特にコロナ禍の影響で職員の仕事量は増え、コミュニケーションの機会も減っているという。「一人で抱え込まないようスクラップアンドビルドしながら、仕事の深みを増していくてもらえたら」

同日東栄町に妻、息子と暮らす。娘2人は独立。「子どもたちが小さい頃は家族でよくキャンプに行きました。現在は月1回程度の出掛け、週2日のミニテニスでリフレッシュする。65歳。

日は事業紹介がある。雇用保険全日程を受活動実績を申し込む

日向市東郷町出身。門川中学校から都城工業高等専門学校建築科に進み、卒業後の1978(昭和53)年、土木技師として門川町役場に入庁した。

## 門川町副町長 木代佳美さん

きしろ よしみ

11月7日からセミナー、受講者募集ナリ、受講者募集

セミナーは11月7、8、10日の全3回。時間は午前10時〜午後3時(10日は正午)まで。会場は同市日知屋の日向ひとものづくりセンター視聴覚室。社会保険労務士の川越雄一さん、接遇マネージャーストラクターの長峰ヒロ子さんを講師に迎え、「再就職活動をどう進めていくか」今、求められるビジネスマネーとは「会いたくなる書類と面接を突破する受け答えのこつ」などを学ぶ。最終

平日午前5時15分 66・1888 @hyuga.jp